

# 57 九州北部豪雨で効果を発揮した阿蘇山麓の治山施設群

熊本県（阿蘇市）



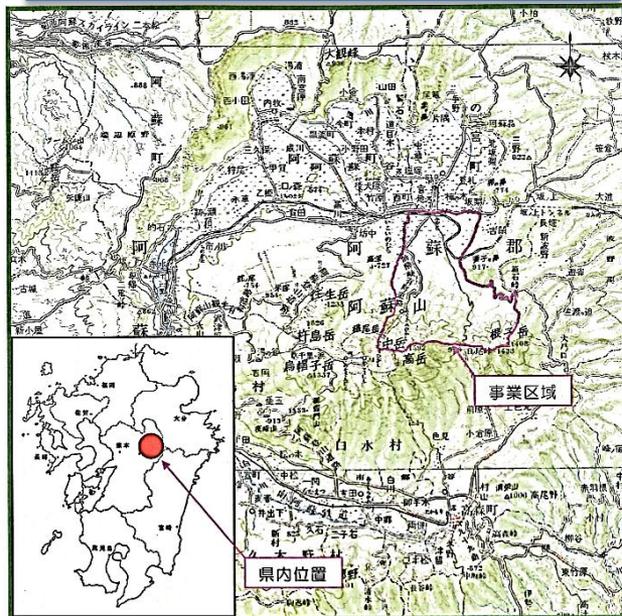
土石流の流下を抑制した治山ダム



土石流及び流木を捕捉したスリットダム



治山事業施工地内の根子岳の崩壊状況(平成24年)



位置図

## ○所在場所

熊本県阿蘇市一の宮町

## ○施設・工法の概要

溪間工435基、山腹工191ha

## ○解説

現在でも活発な火山活動を続けている阿蘇山一帯は、荒廃しやすい地質のため、以前は熊本県が治山事業を行ってきましたが、昭和54年の噴火と55年の大雨を契機として、多数の崩壊地復旧と多量に堆積した不安定土砂の固定、流出防止を図るため、昭和57年から平成22年まで国による民有林直轄治山事業が実施されました。

平成24年7月の九州北部豪雨により、阿蘇地域では甚大な山地災害が発生しましたが、これらの事業で治山施設が整備された黒川、東岳川流域等の地域では、土石流が溪岸の立木を巻き込んで流下したものの、治山施設がこれを捕捉し、下流の人家や道路等の施設にはほとんど到達しませんでした。